

DIGITAL CAMERA

X-T1

New Features Guide

Version 5.00

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種
のファームウェア更新情報をご覧ください。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/fw_table.html


変更項目

本製品は、同梱の使用説明書の記載内容から以下の機能が追加または変更されています。

No.	項目	概要	X-T1 	詳細説明	Ver.
1	撮影時のボタンロックについて	使い方に応じてロックするボタンを変更できます。セットアップメニューに追加された ロック指定 から 全てロック または 機能別ロック を選べます。 機能別ロック では、ロックする機能を選択できます。	11	—	3.00
2	動画撮影	動画撮影中に絞り、シャッタースピードを変更することができます。また、動画撮影前に感度ダイヤルで設定した感度で動画を撮影できます。	41	—	3.00
3	マクロ（近距離撮影）	レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域でピントが合うため、マクロを設定しなくても近距離撮影ができます。 Fn3 ボタンは、 AF モード が割り当てられます。	52, 93	—	3.00
4	マニュアル (M) 撮影時の露出補正	撮影モードがマニュアル (M) で、感度ダイヤルが A (オート) に設定されているときも、露出補正ダイヤルを回して、露出を補正できます。	61, 62	—	3.00
5	連写 / ブラケティング時のフラッシュ動作	連写やブラケティング撮影時に外部フラッシュが使用できます。	66, 68	JA-1	4.30
6	マニュアルフォーカス時のワンタッチ AF	マニュアルフォーカス撮影時に、 AF-L ボタンでワンタッチ AF を行う際のフォーカスエリアのサイズは、コマンドダイヤルで変更できます。	75	—	3.00
7	マニュアルフォーカス時のワンタッチ AF	マニュアルフォーカス撮影時に、 AF-L ボタンでワンタッチ AF を行う際に、ピント (AF ロック) と露出 (AE ロック) の両方を固定できます。	75, 82	JA-1	4.30
8	プログラムシフトの設定	ISO 感度ダイヤルが A の位置のときもプログラムシフトが使用できるようになりました。	58	—	3.00
9	タイム撮影 (T)	フロントコマンドダイヤルによる露光時間の設定は、30 秒～ $1/32000$ 秒の範囲に変更されました。30 秒～ $1/32000$ 秒の範囲を使用するときは、 シャッター方式をメカニカル + 電子 に設定してください。	78	—	3.00
10	動画撮影ボタンのファンクション設定	動画撮影ボタンをファンクション (Fn7) ボタンとして使用できます。 DISP/BACK ボタン長押しで設定します。	41, 49	—	4.30
11	ファンクションボタンの割り当て変更	選択項目から マクロ が削除され、 フラッシュ調光補正 、 シャッター方式 、 マニュアル時モニター露出 / WB 反映 、 モニター撮影効果反映 、 ロック指定 が追加されました。	50	—	3.00
12	クイックメニューの割り当て変更	クイックメニューに表示するメニューを変更できます。	44	JA-1	3.00
13	フィルムシミュレーション	撮影メニューのフィルムシミュレーションに クラシッククローム が追加されました。	53	—	3.00
14	カスタムホワイトバランス	カスタムホワイトバランスを複数から選択できます。	55	—	3.00
15	AF + MF の追加	フォーカスモードが S のときにシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。	93	JA-2	3.00
16	AF + MF 時の AF-L ボタン操作	AF + MF 時に AF-L ボタンで、AE / AF ロックできます。	82, 93	JA-2	4.30

No.	項目	概要	X-T1	詳細説明	Ver.
17	AF+MF 時の FOCUS ASSIST ボタン操作	AF+MF 時に FOCUS ASSIST ボタンで拡大表示できます。	76, 93	JA-2	4.30
18	AF モード	撮影メニューの オートフォーカス設定 > AF モード の設定が変更になりました。	93	JA-3	4.00
19	フォーカスエリア選択	フォーカスエリア選択の内容が変更になりました。	57	JA-3	4.00
20	瞳 AF の追加	撮影メニューの オートフォーカス設定 に 瞳 AF が追加されました。	93	JA-4	4.00
21	測光 & フォーカスエリア連動	撮影メニューに 測光 & フォーカスエリア連動 が追加されました。 ON にすると、 測光がスポットで、オートフォーカス設定の AF モードがシングルポイント の時に、フォーカスエリアの位置に連動して測光します。	98	-	3.00
22	動画モード	撮影メニューの 動画設定 > 動画モード に 50fps、25fps、24fps のフレームレートが追加になりました。	99	-	3.00
23	シャッター方式	撮影メニューに シャッター方式 が追加されました。	100	JA-5	3.00
24	マナーモード	セットアップメニューの マナーモード のメニュー名称が 電子音 & フラッシュ OFF に変更になりました。	110	-	4.00
25	シャッター音、シャッター音量	セットアップメニューの 音設定 に シャッター音 と シャッター音量 が追加されました。	110	-	3.00
26	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	セットアップメニューの 表示設定 に マニュアル時モニター露出 / WB 反映 が追加されました。撮影環境に合わせた設定を行いやすくするため、マニュアル露出設定時に EVF/LCD へ露出やホワイトバランスの設定を反映するかどうかを選択できます。	110, 111	-	3.00
27	EVF 鮮やかさ、LCD 鮮やかさ	セットアップメニューの 表示設定 に EVF 鮮やかさ と LCD 鮮やかさ が追加されました。	110, 111	-	3.00
28	モニター撮影効果反映	セットアップメニューの 表示設定 に モニター撮影効果反映 が追加されました。	110, 111	JA-5	3.00
29	画面のカスタマイズ項目追加	セットアップメニューの 表示設定 > 画面のカスタマイズ で選べる項目が追加されました。	31, 111	JA-5	4.30
30	操作ボタン / ダイヤル設定	セットアップメニューに 操作ボタン / ダイヤル設定 が追加されました。	111, 112	JA-6	4.00
31	クイックメニュー登録 / 編集	セットアップメニューに クイックメニュー登録 / 編集 が追加されました。	112	-	3.00
32	接続設定	セットアップメニューに 接続設定 が追加されました。セットアップメニューの ワイヤレス設定、PC 保存先設定、位置情報設定 が接続設定のサブメニューとなります。また、 instax プリンター接続設定 で、別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定できます。 ・再生メニューに追加された instax プリンタープリント で、別売の instaxSHARE に画像を印刷できます。	114, 115	-	3.00
33	PC シューティング機能	セットアップメニューに USB モード が追加されました。	115	JA-6	4.00

変更項目

No.	項目	概要	X-T1 	詳細説明	Ver.
34	フラッシュ関連メニュー	撮影メニューのフラッシュに関する項目が、 フラッシュ機能設定、TTL-LOCK モード、フラッシュ詳細設定 の項目となり従来機能の配置が変わりました。	46, 47, 98	JA-7 ~ JA-15	5.00
35	クイックメニューの割り当て変更	クイックメニューに割り当てることができるメニューに、 フラッシュ機能設定と、フラッシュ調光補正 が追加されました。	44	—	5.00
36	ファンクションボタンの割り当て変更	ファンクションボタンに割り当てることができる機能に、 フラッシュ機能設定、TTL-LOCK、モデリング発光 が追加されました。	50	—	5.00

追加 / 変更機能について

連写 / ブラケット撮影時のフラッシュ動作

X-T1 使用説明書： 66、68

連写やブラケット撮影時に外部フラッシュが使用できます。

- ① 付属のクリップオンフラッシュでは使用できません。
- ① 電池残量やその他条件により連写速度が低下する場合があります。

マニュアルフォーカス時のワンプッシュ AF

X-T1 使用説明書： 75、82

フォーカスモードがMのときに、AF-L ボタンでワンプッシュ AF を行う際に、ピント (AF ロック) と露出 (AE ロック) の両方を固定できます。

クイックメニューの割り当て変更

X-T1 使用説明書： 44

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しすると、クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。
 - 2 割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
 - 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、クイックメニューにメニューが割り当てられます。
- ◆ なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
 - ◆ クイックメニューの割り当ては、セットアップメニューに追加されたクイックメニュー登録 / 編集からも設定できます。

AF+MF

X-T1 使用説明書： 76、82、93

撮影メニューに **AF+MF** が追加されました。

AF+MF を **ON** にすると、フォーカスモードが **S** のときにシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

- ◆ **MF アシスト** でスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。
 - ◆ AF+MF 時に **FOCUS ASSIST** ボタンで拡大表示できます。拡大表示は、AF+MF 操作開始後も続きます。
 - ◆ AF+MF 時に **AF-L** ボタンで、AE/AF ロックできます。
- ① 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを **S**、レンズ側を距離指標モード (MF) に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
 - ① 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください (フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります)。

● AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について
表示設定のフォーカスチェックを **ON** にすると、AF モードがそれぞれ以下のときにフォーカス位置を拡大表示できます。

■ 拡大する位置

AF モード	AF+MF 操作時の MF 拡大表示位置
シングルポイント	エリア選択位置
ゾーン	拡大しない
ワイド/トラッキング	

■ 拡大率

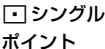
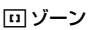
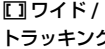
フォーカスリングの回転	AF ロック時
2.5 倍または 6 倍	4 倍

◆ AF+MF では、倍率変更できません。MF 操作時に設定されていた拡大表示倍率になります。

AF モード

X-T1 使用説明書： 93

撮影メニューのオートフォーカス設定 > AF モードの設定
が変更になりました。


設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエ リアで、ピントを合わせます。 ◆ 被写体をピンポイントで撮影するときに便 利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエ リアで、ピントを合わせます。77 のエリアの 中から 5×3、5×5、3×3 のゾーンを選択で きます。 ◆ 動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S のとき (ワイド) : シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。 フォーカスモードが C のとき (トラッキング) : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 <p>① 小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>

フォーカスエリア選択

X-T1 使用説明書： 57

フォーカスモードを **S** または **C** に設定したときのピント合わせのエリア変更は、**AF モード** の設定によって、操作が異なります。

■ AF モードがシングルポイントの場合

前バージョンの  エリア選択を設定しているときと同じです。

■ AF モードがゾーンの場合

ファンクション (**Fn6**) ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

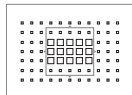
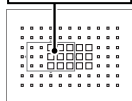
▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。

◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

リアコマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。

◆ 右に回すとサイズが 5×5、3×3、5×3、5×5 の順で拡大されます。左に回すと逆の順に大きさが変わります。**FOCUS ASSIST** ボタンを押すと、5×3に戻ります。

フォーカスエリア

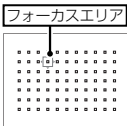


■ AF モードがトラッキングの場合

ファンクション (Fn6) ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、MENU/OK ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きと位置に合わせてピントを合わせ続けます。

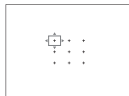
◆ AF モードがワイド / トラッキングのときのフォーカスエリア選択は、フォーカスモードが C のときのみ有効です。

◆ フォーカスエリアは、▲▼◀▶ で移動でフォーカスエリア
できます。DISP/BACK ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

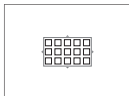


● フォーカスモードが C に設定されていて高速連写 (CH) するときのフォーカスエリアについて

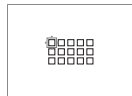
高速連写 (CH) でフォーカスモードが C のときは、選べるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



ワイド / トラッキング

◆ ゾーンの場合は、5×5 が選べません。

瞳 AF

X-T1 使用説明書：📖 93

撮影メニューのオートフォーカス設定に瞳 AF が追加されました。

顔キレイナビが ON のときにカメラが人物の瞳を検出すると、目にピントを合わせることができます。

設定	説明
👁️ AUTO	カメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
👁️ R 右目優先	右目にピントを合わせます。
👁️ L 左目優先	左目にピントを合わせます。
OFF	瞳 AF 機能は使用しません。

◆ メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

◆ フォーカスモードが C のときは、瞳 AF は使用できません。

シャッター方式

X-T1 使用説明書：📖 100

撮影メニューにシャッター方式が追加されました。

電子シャッターまたはメカニカル+電子に設定すると、シャッタースピードダイヤルを4000にしたあとにコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。また、シャッター音を消して撮影できます。

- ❖ 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
 - 感度は6400～200、シャッタースピードは $1/32000$ ～1秒に制限されます。
 - ぐるっとパノラマ撮影時は、メカニカルシャッターになります。
 - 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
 - 連写撮影では、ピントや露出は1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ① 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分配慮のうえ、お客様の責任でお使いください。

モニター撮影効果反映

X-T1 使用説明書：📖 110、111

セットアップメニューの表示設定にモニター撮影効果反映が追加されました。

ONにすると、フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。OFFにすると、撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。

❖ OFFでは、表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

画面のカスタマイズ

X-T1 使用説明書：📖 31、111

セットアップメニューの表示設定 > 画面のカスタマイズで選べる項目が追加されました。

■ 追加された項目

- AF フレーム
- 撮影モード
- 情報表示背景
- フォーカスモード
- シャッター方式
- 連写モード
- プレ防止
- 動画モード
- 手ブレ警告

操作ボタン / ダイヤル設定

X-T1 使用説明書：📖 111、112

セットアップメニューに**操作ボタン / ダイヤル設定**が追加されました。

サブメニュー	内容
ファンクション (Fn) 設定	X-T1 使用説明書：📖 111 のファンクション (Fn) 設定が移動されます。
コマンドダイヤル設定	X-T1 使用説明書：📖 112 のコマンドダイヤル設定が移動されます。
セレクターボタン設定	セレクターボタン (▲▼◀▶) の機能を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Fn ボタン：セレクターボタンは、ファンクションボタンとして機能します。 ・ フォーカスエリア：フォーカスエリアの位置を直接変更できます。
AE-L/AF-L ボタン設定	AE-L ボタンと AF-L ボタンの機能を入れ換えることができます。

PC シューティング機能

X-T1 使用説明書：📖 115

セットアップメニューに **USB モード**が追加されました。

別売の「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」を使うと、USB ケーブルで接続したパソコンからのリモート撮影とパソコンへの画像転送が可能になります。ご使用の際は、セットアップメニューの **USB モード**で **PC SHOOT 自動**を選びます。詳しくは「HS-V5」のヘルプをご覧ください。

- ① 「HS-V5」を使用しない場合は、必ず **USB モード**を **MTP (PTP)** に設定してください。他のモードに設定しているとメモリーカードへの記録および USB 接続による PC への記録画像の転送ができません。
- ① セットアップメニューの**消費電力設定 > 自動電源 OFF**の設定は、PC シューティング中も有効になります。PC シューティング中にオートパワーオフをさせたくない場合は、セットアップメニューの**消費電力設定 > 自動電源 OFF**を **OFF** に設定してください。

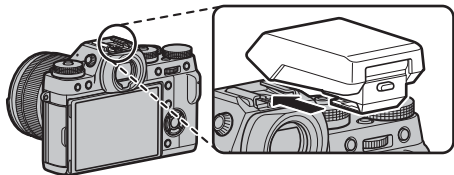
フラッシュ撮影

X-T1 使用説明書： 46、47

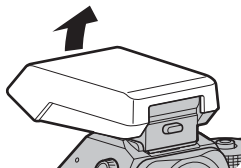
フラッシュの設定方法が変更になりました。

- 1** ホットシューカバーを外して、ホットシューにフラッシュを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、フラッシュをスライドさせます。



- 2** フラッシュを手動で起こし、ポップアップします。



- 3** 撮影メニューから**フラッシュ機能設定**を選びます。同梱フラッシュの設定画面が表示されます。

① フラッシュをポップアップしていない場合は、シンクローミナルの設定画面が表示されます (JA-8)。必ずフラッシュをポップアップしてから設定してください。

- 4** フラッシュの設定を変更します (JA-9)。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



- 5** **DISP/BACK** ボタンを押します。フラッシュモードが設定されます。

① ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

① 電子シャッターを使用しているときは、フラッシュは発光しません。

① 撮影モードが **S** (シャッタースピード優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度 **180X** よりも長い時間に設定してください。

◆ TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

フラッシュ機能設定

X-T1 使用説明書： 98

撮影メニューにフラッシュ機能設定が追加になりました。

フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。

フラッシュ設定	説明
シンクロターミナル	シンクロターミナルにフラッシュを接続している場合に表示されます。シンクロターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。また、外部フラッシュが何も接続されていない場合でも、このメニューが表示されます (JA-8)。
同梱フラッシュ	同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を接続して、ポップアップしている場合に表示されます (JA-9)。
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます (JA-10)。
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます (JA-12)。

❖ フラッシュを接続してポップアップしていない場合や、ホットシューにフラッシュが接続されていない場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます。

■ シンクロターミナル

シンクロターミナルにフラッシュを接続している場合に表示されます。



① モード (発光モード)

シンクロターミナル、ホットシューX接点からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。

設定	説明
M	撮影に同期して、シンクロターミナル、ホットシューX接点からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度 (1/180) よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッター速度を設定してください。
OFF	シンクロターミナル、ホットシューX接点からトリガー信号を発行しません。

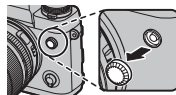
② 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
先幕	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
後幕	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

● シンクロターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクロターミナルに接続してください。



■ 同梱フラッシュ

同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を使用するときに表示されます。



① モード（発光モード）

フラッシュの発光モードを選びます。


設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。
コマンドー	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。
OFF	フラッシュを使用しません。OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。

② 調光補正 / 発光量（発光強度）

フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。

③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。

設定	説明
フラッシュ 発光 AUTO	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
スタン ダード	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
スロー シンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
先幕	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
後幕	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

■ クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを接続している場合に表示されます。



① モード (発光モード)

フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。

設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。
Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光 (マルチ発光) します。
OFF	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。


② 調光補正 / 発光量 (発光強度)

- モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。

- モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (1/1) から 1/512 発光まで、1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。
- モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、1/4 発光から 1/512 発光まで 1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。

設定	説明
フラッシュ 発光 AUTO	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
スタン ダード	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
スロー シンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
先幕	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
後幕	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、 先幕 となります。

⑤ ズーム設定

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できません。**AUTO** の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

⑥ 配光設定 (配光特性)

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。

設定	説明
光量優先	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
スタンダード	撮影画角に対して最適な照射角にします。
配光優先	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

⑦ LED ライト設定

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵の LED ライトの用途を設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光のみ使用します。
AF 補助光 + キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。
OFF	どちらも使用しません。

⑦ TIMES (発光回数)*

モードが **Multi** のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。

⑧ Hz (発光周波数)*

モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

- ④ **A グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)
 ⑤ **B グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)
 ⑥ **C グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)


グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。

- ・モードが **TTL** に設定されているときは調光補正を設定できます。
- ・モードが **M**、**Multi** に設定されているときは発光強度を設定できます。
- ・モードが **TTL%** に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。

補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

⑦ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。

設定	説明
フラッシュ 発光 AUTO	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
スタン ダード	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
スロー シンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

⑧ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
先幕	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
後幕	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、 先幕 となります。

⑨ **ズーム設定**

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できません。**AUTO** の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

⑩ **配光設定**（配光特性）

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。

設定	説明
光量優先	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼げます。
スタンダード	撮影画角に対して最適な照射角にします。
配光優先	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

⑪ **MASTER 設定**（MASTER 発光設定）

モードが **TTL**、**TTL%**、**M** のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

⑫ **TIMES**（発光回数）

モードが **Multi** のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。

⑬ **CH 設定**

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

⑭ **Hz**（発光周波数）

モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

TTL-LOCK モード

X-T1 使用説明書：📖 98

撮影メニューに **TTL-LOCK モード** が追加になりました。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件をロックします。
調光発光してロック	調光発光した条件をロックします。

- ❖ TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます。
- ❖ ロックしていても調光補正はできません。
- ❖ **直前の発光条件でロック** を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。
- ❖ TTL ロックは赤目抑制発光と併用できません。

フラッシュ詳細設定

X-T1 使用説明書：📖 98

撮影メニューに **フラッシュ詳細設定** が追加になりました。また、フラッシュメニューには **フラッシュ詳細設定** 以外に、以下のサブメニューがあります。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光+補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

- ❖ 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- ❖ TTL ロック中は、赤目抑制発光は使用できません。
- ❖ 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- ❖ RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

LED ライト設定

フラッシュのLEDビデオライトを静止画撮影時のAF補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LEDライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF補助光	AF補助光としてのみ使用します。
AF補助光+ キャッチライト	AF補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。

◆ フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	Aグループに設定します。
Gr B	Bグループに設定します。
Gr C	Cグループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

◆ フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値：CH1、CH2、CH3、CH4

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html